

『タイヤ脱着補助装置』 実用新案 第 3236509 号

2022年2月28日

アイコクアルファ株式会社

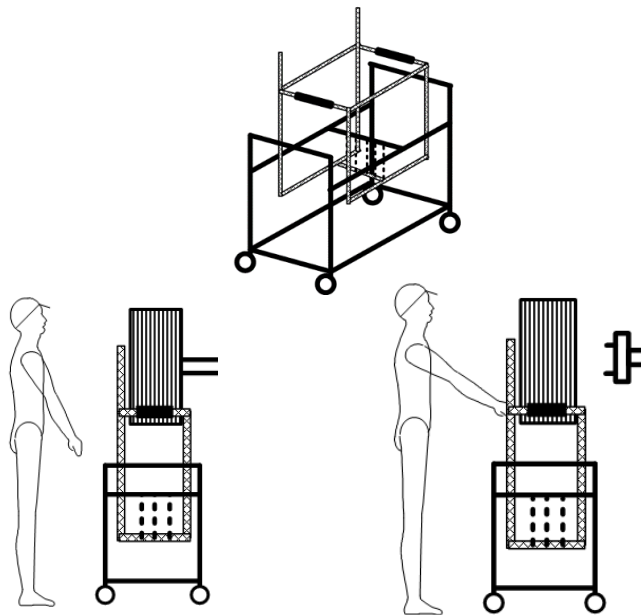
弊社は、関連会社のアイコクアルファオートに自動車整備工場があり、法定点検などではタイヤを外して点検し、また、夏タイヤと冬タイヤの交換をしています。

本考案は、このタイヤ脱着作業時に使用する装置に関するもので、コンパクトで、移動しやすく、タイヤと車体（ボルト）の位置合わせがしやすいタイヤ脱着補助装置を実現しました。

【実用新案公報の概要】

機械的な昇降装置を必要とせず、荷受部と下台座の2段構造で、荷受部と下台座を弾性体（バネとゴム）を用いて係合させたことを最も主要な特徴としており、作業者がタイヤを持って上下させると弾性体（バネとゴム）の作用でフワフワと浮いたような状態となり、微妙な位置合わせが可能となります。

（※詳細は、[\[実用新案公報\]](#)でご確認ください）



〔考案者：山内 健のコメント〕

『この装置は軽自動車から大型SUV用のタイヤまで対応しており、手作業で車検・点検時にタイヤを降ろす必要が無くなりました。これで作業者の負担を大幅に軽減できました。長年課題であった腰痛対策ができ、皆が喜んでいます』



木村 山内 宮部 村瀬

〔考案者〕